



高鍋高校通信

第3号 2021.7.26



「輝け高鍋高校！」～地域自慢の学校作りプロジェクト～

1 学期末テストがありました

6月28日～7月1日の4日間で1学期末テストがありました。テストに向けて精一杯勉強するテスト前もちろんですが、それと同じくらいテスト後も大切な時間です。間違えてしまったり、わからなかった問題があっても、それは「自分の理解できていなかった場所が明確になった」ということなので、前向きにとらえて学習を続けましょう。そうすれば着実に学力は上がっていくはず。テスト期間中、生徒は午前中で放課になります。先生達は授業もないのに一体何をしているの？と思ったことはないですか？テスト期間中の午後先生達は様々な会議や研修を実施しています。AED研修、コンプライアンス研修、授業力向上研修、学力検討委員会・・・などです。高鍋高校が安全・安心な場所であるために先生達もがんばっています。



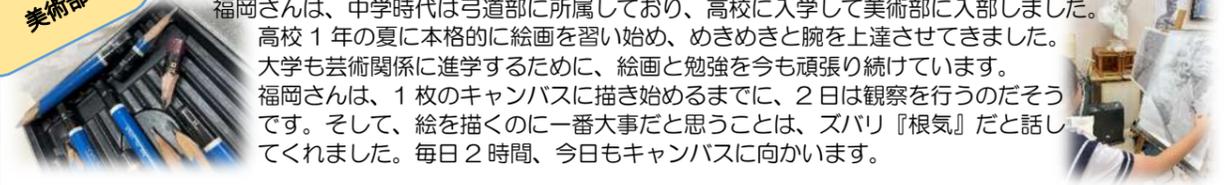
ラグビー部

第8回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会宮崎県予選において、7大会連続の優勝を飾りました。梅雨時期の悪天候の中での大会となり、セブンスの試合をするにはとても難しい環境下ではありましたが、なんとか連覇を続けることが出来ました。もちろん選手は頑張りましたが、この勝利は学校関係者の理解、地域の方々のご支援、保護者、OBの皆様のおかげと心から感じております。セブンスのメンバーは7月16日から長野県菅平で開催される全国大会に出場します。無観客での大会になりますが、宮崎県の代表として誇り高く戦って来ます。



美術部

令和3年度全国高等学校総合文化祭美術部門に探究科学科3年福岡朋佳さんが参加します。福岡さんは、中学時代は弓道部に所属しており、高校に入学して美術部に入部しました。高校1年の夏に本格的に絵画を習い始め、めきめきと腕を上達させてきました。大学も芸術関係に進学するために、絵画と勉強を今も頑張り続けています。福岡さんは、1枚のキャンパスに描き始めるまでに、2日は観察を行うのだそうです。そして、絵を描くのに一番大事だと思うことは、ズバリ『根気』だと話してくれました。毎日2時間、今日もキャンパスに向かいます。



高鍋高校卒業生の声

こんにちは。私は高鍋高校出身の山崎兼幸と申します。高校時代は野球部の主将として楽しく濃い時間を過ごしました。現在は警視庁機動隊に所属し、レスキュー隊員として働いています。高校時代は自衛官を目指していました。自衛官は中学生の時からずっとなりたい職業で3年生の9月まで自衛官を目指して勉強したり講座に参加したりして警察官になることなど考えてもいみませんでした。自衛官から警察官に進路を変更したのは、自衛官の試験に失敗したからです。学校の成績も悪くなかったので試験に失敗するとは想像すらしていませんでした。それまで自衛官になることだけしか考えておらず、私には道がなくなると感じました。専門学校へ行ってもう一度自衛官を目指すか、今からでも入れる大学を探すか、他の職業に就くか…など家族で何度も話し合いをして悩みました。担任や野球部顧問にも相談して、そこで警視庁警察官の道を薦めてもらいました。正直初めはあまり気乗りせず、勉強もはかどりませんでした。そうしている間にも周囲は進路決定者が増えてくると更に焦りも生まれてきます。しかし応援してくれるクラスメイトや野球部の仲間、先生方がいたのでとりあえず3ヶ月間は頑張って勉強しました。学校でも先生方に協力していただき、下校時間ギリギリまで勉強をして、自宅でも今まで以上に勉強しました。時間がなかった分、不安でしたがやるだけやってみようと思えば懸命勉強に取り組んだ結果、警視庁に合格することができました。今となっては警察官になって良かったと心から思っています。夢だった自衛官になれなかったのは残念ですが、今は警視庁警察官であること、機動隊のレスキュー隊員であることに誇りを持っています。余談ですが私は久峰中出身で自転車通学をしていました。そして3年間皆勤です。この3年間でも私の宝です。人生には間違いはありません。大学へ行くのも正解だし、就職するのも正解です。どんな道に進むにも諦めず、全力で取り組めば必ずいい方向に進むことができます。進路に悩んでいる人はやりたいことを見つけそれに向けて勉強を頑張ってください。道を開くのは自分自身です。今という時間を大事にして、夢に向かって頑張ってください。



熱海市「土石流」取り残された母と赤ちゃんを救出(2021年7月5日)
土石流の発生から丸一日以上が経った4日、1階が土砂に埋まったマンション...



*山崎さんは、先日熱海で起きた土石流災害の救助に派遣されて人命救助に活躍されました。その模様は全国ニュースはもちろんのこと、YouTubeでもマスコミ各局が配信しています。

探究科学科

「探究科学科でレベルアップ！」

都農中出身 黒木 洸佑

探究科学科は、この学科で学べば自分をもっと伸ばしてレベルアップさせることができる！と自信を持っておすすめできる学科です。「サマーキャンプ」、「ウィンターキャンプ」という学科独自の行事では、調べる、話す、伝える、発表するという日本語でも少し難しいことを英語で実施します。自分の気持ちを表現することや伝えることは恥ずかしい気持ちもありますが、実際にやってみると簡単だったり難しかったり面白かったりうれしかったりして、たくさんの学びがあります。また「探究」をテーマに様々な外部講師の先生方と繋がって面白い授業を受けることができます。2年生で本格的にスタートする課題研究では自分の疑問に思っていることを学問的に深めることができます。読む力書く力、話す力伝える力、そして物事を「探究」する力があれば、この先どんなことがあっても社会を乗り越えていけるのではないのでしょうか。部活と勉強の両立が難しいのではないかと心配している声もよく聞きますが、探究科学科の生徒は部活動加入率が非常に高く、ラグビー部や野球部に所属している生徒もいます。両立のコツは自分で時間を見つけて、それをうまく使うことです。学校には「伸びる机」という職員室前廊下に勉強スペースがあります。そこで勉強すれば、もしわからない問題があっても3秒で先生のところに質問に行くことができます。高校生活は工夫と気持ちの持ちようです！探究科学科でみなさんを待っています！



探究ワークショップ 実施しました

7月5日、6日の二日間、探究科学科1、2年生を対象に「探究ワークショップ」が行われました。「課題研究のメソッド」の著者であるGlocal academyの岡本尚也氏を講師にお招きしました。昨年はオンラインでの実施でしたが今年実際に会って話を聞いたり直接質問したりすることができました。対話をしながら進んでいく岡本氏の講義スタイルはとて新鮮です。「前提としていることを疑え」「自分のやりたいことが途中で変わってもいい。それは視野が広がったという証」「結果ではなくプロセスが大事なのが課題研究」とも胸に刺さる岡本氏の言葉です。たくさんの収穫のあった貴重なワークショップでした。これからの探究活動も大いに活発になっていくことでしょう。

「奇貨居くべし(きかいくべし)」
めったにないチャンスは逃さず利用しなければならぬという意味です。
GOGO探究科学科！



生活文化科

放課後の家庭科棟を覗いてみると・・・

パソコン室

2・3年生
7/10(土)の情報処理検定合格に向けて練習中！



調理室

1年生
7月の食物調理技術検定4級の練習中！(各自きゅうり持参)



被服室

3年生
鳴海ヶ丘祭ファッションショーのドレス製作中！



被服室

(全学年) 期末テスト最終日の放課後に、家庭クラブ「アロマ作り講習会」を開催中！



好きなアロマで
手作り香水

持ち帰り用の
素敵なラッピング
は紙コップ利用！

◎生活文化科の生徒は、いつも昼休みや放課後の時間を使って技術を磨き、自分自身を高めています！！

7月30日(金)
高鍋高校オープンスクール 夏の陣



たくさんの中学生のみなさんの参加をお待ちしています！
次号は9月末に発行予定です。